

神 坂 達 成 かみさか たつあき



令和3年9月定例会(9月1日~10月15日) 議会報告

2022年度予算編成と施策に対する要望書を提出!



誰ひとり取り残さない社会の実現を!

8月31日、清水市長と会い、2022年度の予算編成と施策に対する要望書を手渡しました。私からは①若者への新型コロナワクチン接種の啓発の強化②時短要請などで経営が深刻化している市内中小企業・小規模事業者らの支援拡充③全小学校の1人一台のタブレット端末と結べる大型プロジェクター設置④カーボンニュートラル実現に向け、ごみ発電などを活用した電力の地産地消の推進など、計127項目を求めました。市長からは検討する意向が示されました。

待機児童数 387人(全国1位)から11人へと大幅減!

私自身、3児の父としての子育て経験から、子どもの預け先が見つからない辛さは肌で感じており、初当選以来、様々な機会を通じて待機児童ゼロへの取り組みを推進してまいりました。

本年4月、さいたま市の待機児童数は387人から11人へと大幅に減少し、待機児童数日本一の汚名を返上することができました。しかしながら、コロナによる利用控えもあり、潜在的な保育ニーズは依然と高く、認可保育所等を利用できなかった方も相当数いることなどを加味すれば、さらなる取り組みの必要性は明らかです。9月の代表質問では、さらなる認可保育所の整備推進を求めました。

答弁に立った副市長からは、『保育ニーズの高い地域で、民家保育所や小規模保育事業の整備、主要駅における送迎保育ステーションの設置を進めるとともに、子育て支援型幼稚園や認定こども園を拡充することにより「選べる子育て環境」の創出に積極的に取り組んで行く』との力強い決意が示されました。



※議会での取組などHPにて公開しています。興味のある方は是非ともご覧ください。なお、市政に対するご意見、ご要望等ございましたらお気軽にお聞かせください。



さいたま市の新たな未来を拓く!



社会的孤立者に対する

支援策の強化を!

社会的孤立者への支援策の強化
 を設ける
 りいける
 のに
 コーダーの
 ()
 孤児の
 化
 社会的孤立者への支援策の強化
 を設ける
 りいける
 のに
 コーダーの
 ()
 孤児の

シェアリング・エコノミー

制度の創設を提案!

シェアリング・エコノミー制度の創設
 を提案する者
 の者
 する者
 た者
 の者
 シェアリング・エコノミー制度の創設
 を提案する者
 の者
 シェアリング・エコノミー制度の創設
 を提案する者
 の者



(傾斜した歩道の藤右衛門川通り画像)

藤右衛門川通り(原山)

傾いた歩道改修へ!

傾いた歩道改修へ!
 藤右衛門川通りの歩道
 傾いた歩道改修へ!
 藤右衛門川通りの歩道
 傾いた歩道改修へ!
 藤右衛門川通りの歩道



(劣化が著しい現地道路の画像)

松芝公園北側道路(芝原)

道路舗装張り替えへ!

道路舗装張り替えへ!
 松芝公園の北側を北
 芝原の道路に
 いる
 に
 に
 道路の化
 に
 の
 の
 の
 の